

アドベンチャーラリー

アドベンチャーラリー

～アドベンチャーに挑戦～



国立淡路青少年交流の家

アドベンチャーラリー

アドベンチャーに挑戦

■ 概要

グループで協力して課題を解決する活動を通して、協力することを楽しみ、仲間との信頼関係を高めます。

■ ねらい

- 与えられた課題にグループで協力して取り組む。
- グループの中で主体的に活動する。
- あきらめずに最後まで課題を解決する姿勢で臨む。
- 課題に対するグループの取り組み、個人の取り組み姿勢をみる。
- グループのあり方について考させる。

参加

指導者

■ 準備物

準備物	必要数
○水筒	各自
○帽子	各自
○軍手 (島渡りを実施の時)	各自
○タオル	各自

■ 指導者、人数、費用など

対象	小学校5年生以上
指導形態	職員が活動の説明・進行・ふりかえり等を指導します。 ※活動によっては団体指導者のサポートをお願いします。
人数	6～40人 ※41人以上で実施する場合は ご相談ください。
1グループ人数	6～10人
費用	7,500円/1回
実施時間	2.5時間
場所	屋外 お祭り広場・友情の広場 ※荒天時は室内
時期	1年中

■ 服装

- ・運動ができる服装
- ・運動靴
- ・上靴
(荒天時は種目を変更して室内で実施します。)

■ 事前

- ・より効果的の指導のために2週間前までに事前調査票を提出する。
- ・団体指導者は、活動実施30分前に、職員による事前打合せを受ける。
- ・団体内でグループ分け・支援体制を決めておく。

■ 展開

	活動	職員の動き	研修生の動き	団体指導者の動き
打合せ (20分)	職員と団体指導者との打合せ	活動の内容や留意事項について団体指導者と確認する		活動の内容や留意事項について職員と確認する
導入 (15分)	全体概略の説明	・全体概略を説明する	・全体概略を理解する	・研修生の支援を行う
	安全指導(全般)	・本日举行種目に応じた安全指導を行う	・安全上の注意点を理解する	・研修生の支援を行う
	移動	・各種目を行う場所へ移動	・グループに分かれて、それぞれの活動場所へ移動する	・全体を巡回する
活動中 (100分)※3種目時	グループ活動 ※1種目30分として3種目行った場合は90分必要	・種目指導者は課題ルールを説明する ・活動中はグループ内の様子を観察する ・本部は全体の進み具合を集約し時間調整等行う	・1種目につき3～4グループを基本として、それぞれのグループごとに各種目を行う	・全体を巡回する ・適宜、研修生の支援を行う
まとめ (15分)	ふりかえり	・グループ内で研修生の感想交流のサポートをする ・全体でのふりかえりを行う	・グループ内でお互いの感想を交流するとともに全体でも共有する。	・グループ内での研修生の感想交流を支援する

■ 留意点

安全上の留意点

- ・ 島渡りを実施する場合は、必ず軍手を着用する。

指導上の留意点

- ・ この活動は、グループで課題を解決することを目的としています。活動の開始から終了までの間は、グループ内に様々な状況が生まれてきます。その状況にどう関わったのか、その状況にどう対応したのかが参加者たちに求められており、ふりかえりの重要なポイントとなります。指導にあたる方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入といったものは避けたほうがより効果的です。

■ 雨天時の対応

- ・ 雨天でも屋内で実施可能です。(種目が変更になる場合があります。)
- ・ 体育館で実施する場合は、上靴が必要です

種目一覧

①砂の楼閣

「砂をできるだけ高く積み上げる活動」

②ラインナップ

「平均台の上で一列に並んだ人が全員入れ替わる活動」

③交通渋滞

「一列に並んだ人が、ルールに従って左右全員入れ替わる時間を競う活動」

④ブラインドスクエア

「アイマスクをしてひもで正方形つくる活動」

⑤時限爆弾

「離れたところにある球の入ったバケツをロープを道具として移動させる活動」

⑥パイプライン

「ハーフパイプで協力してビー玉を運ぶ活動」

⑦島わたり

「3つの島を、与えられた板2枚のみで渡り切る活動」

⑧キーパンチ

「1～30まで書かれたカードを順番に踏んでいく活動」

⑨川わたり

「一人一枚マットの上に乗し、一方から反対側へ移動する活動」

⑩魔法のじゅうたん

「じゅうたんの上に乗った状態で、一人も落ちることなくじゅうたんを裏返しにする活動」

